

# 療養通所介護 活用ガイド



## はじめに

最近、病院での入院期間が短くなり、余儀なく自宅での療養生活が始まる高齢者が増えています。なかには医療的な処置が必要で、常に誰かが見守っていなければならない高齢者も少なくありません。介護を受ける本人も、介護を担う家族も「医学の知識がないのに本当に介護できるのだろうか」という不安をもち、精神的に大きな負担となります。

そんなときに利用していただきたいのが「療養通所介護」です。介護保険で利用できる居宅サービスのひとつである「通所介護（デイサービス）」の新たなサービスとして、2006年4月の介護保険制度改正で新設されました。

一般に、医療依存度が高い方の場合、デイサービスを利用したくても、「医療的処置に対応できるスタッフがいない」という理由で断られるケースが多かったのですが、そうした方を対象に提供するサービスです。看護師が状態を見守りながら医療的ケアを行うので、状態が急変したときも安心です。

それまで通院以外は外出することがなかった方にとっては、気分転換になるだけでなく、社会との接点をもつことで生きる意欲につながります。実際、看護師や専門職の手厚いケアを受け続けることによって、精神状態や身体状況が改善したというケースは多くみられます。また、介護している家族は、安心して休息時間がとれるようになるので大いにリフレッシュでき、介護の負担が減ります。

そこで「療養通所介護」とはどのようなサービスなのか、事例や利用者の声もまじえて、わかりやすくまとめました。ひとりでも多くの方のお役に立てば幸いです。